

湛水直播管理情報 (第1号)

～ 湛水土中直播(カルパー) ～

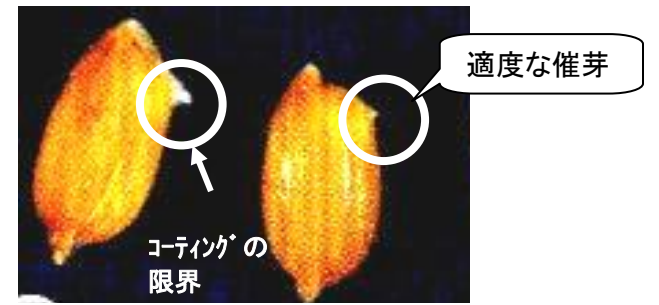
平成27年4月17日
アルプス農協管内農業技術者協議会

苗立率の確保に向けて、種籾とほ場の準備をしっかりと！

1. 種子消毒・浸種・催芽

- (1) コシヒカリの種籾は10a当たり乾籾で3kg程度準備する。
- (2) 発芽・苗立ち向上のため、比重選・種子消毒を確実に行う。
- (3) 種子消毒は、テクリードCフロアブル200倍液で24時間浸漬する。
- (4) 浸種は移植栽培と同様に、水温10℃以上15℃以下を保ち、積算温度100℃以上を確保するためしっかり浸種する。
- (5) 発芽率を高めるために、浸種初日は水温12.5℃を確保する。
- (6) 催芽は、ハトムネから1mm程度の芽の長さに揃える。

カルパーコーティングに適した催芽の状態

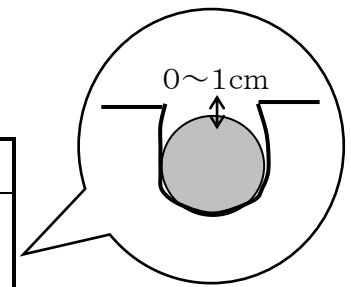


ハトムネ状態がベスト！

2. 代かき

- (1) 代かきは少なめの水で均平に努めるが、ねり過ぎないように注意する。
- (2) 稲わらはしっかりすき込む。

代かき時期	播種時の土の硬さの目安
沖積砂質乾田：播種2～3日前	1mの高さから落としたゴルフボールが、0～1cm程度沈み込む状態。
その他の土壌：播種4～5日前	



3. 基肥量の目安(コシヒカリ)

(単位 kg/10a)

土壌区分	肥効調節型肥料体系	分施肥体系
	LPss直播コシヒカリ	BB基肥206
砂壤土	32～35	26kg/10a
壤土・黒ボク	25～28	22kg/10a
粘質土	23～26	18kg/10a

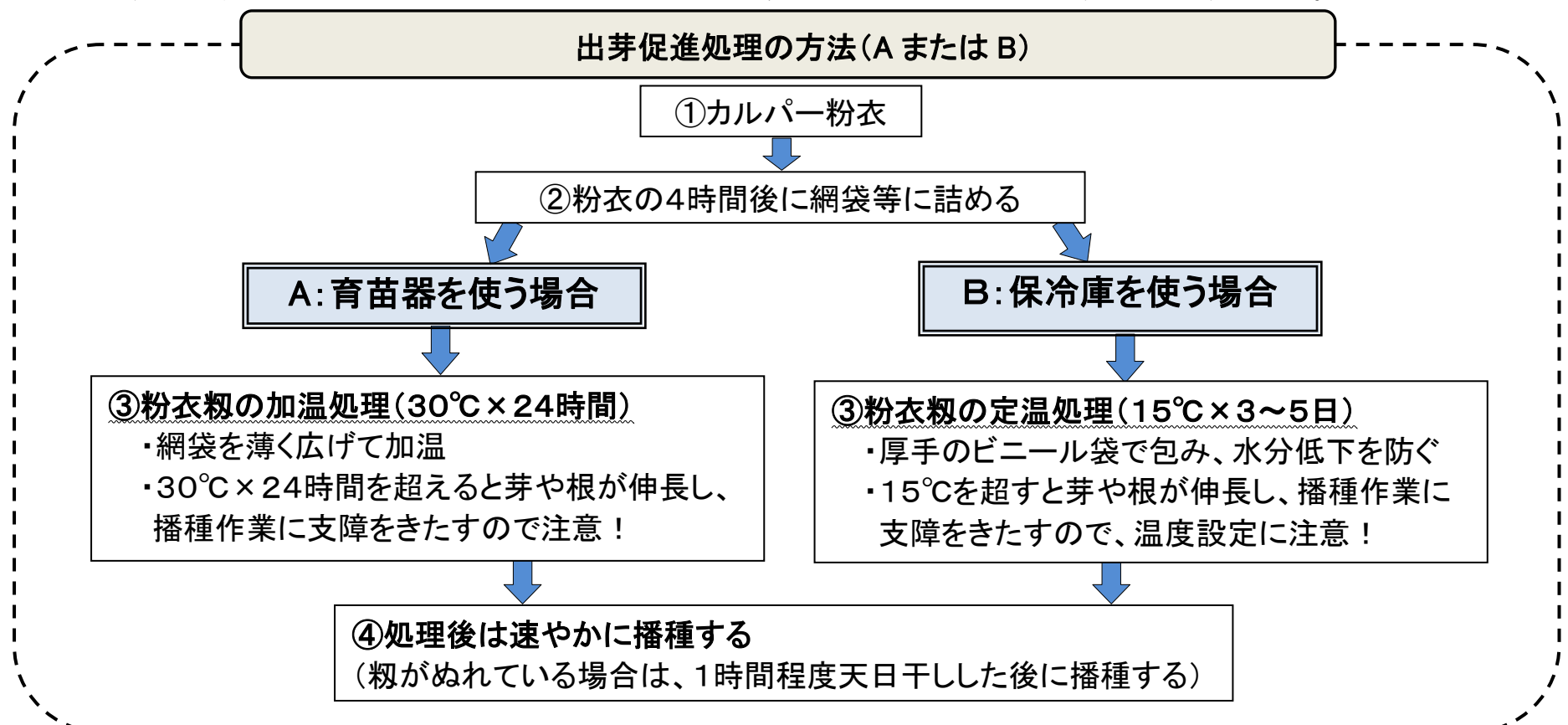
※大豆跡田および堆肥施用田では肥効調節型肥料を使用しないで、分施肥体系の半量を目安に施用する。

4. カルパーコーティング

- (1) 均一にコーティングするため、催芽籾は十分に水切りする。
- (2) カルパー粉粒剤16は乾籾の等倍～2倍量程度を粉衣し、タチガレエースM粉剤を乾籾3kg当たり90g加える。
- (3) コーティング後は2～3時間陰干しする。ただし、乾かし過ぎないように注意する。
- (4) コーティングした籾は早めに播種する。

5. 出芽促進処理

4月播種を中心に発芽促進処理を実施することにより、発芽の促進と安定した苗立ちを確保する。



6. 播種

- (1) 播種量は乾粒で10a当たり2.5～3kgを目安に播種する。
- (2) 播種深度は5～10mm程度を目標に播種する。
- (3) 確実に覆土されていることを確認するとともに、播種作業中も種子や肥料の落下量を確認する。
- (4) 降雨時の播種作業では粉衣粒が濡れないように注意し、吐出口等で詰まっていないかこまめに確認する。

足を踏み入れ、2～3cmしか沈まなくなった時期が入水の目安。
干し過ぎると、漏水により除草効果が劣るので注意！



適度な田干し状況

7. 播種後の水管理

- (1) 播種後は速やかに5～10m間隔で排水溝を掘り、落水を促す。
- (2) ほ場の透水性に応じ、土壌表面に小さな亀裂が入るまで田干しを行い、出芽に必要な酸素を供給する。
- (3) 砂壤土等3～4日で大きな亀裂が入るほ場では、いったん水を入れ、再度干す(2段干し)。
- (4) 出芽後は水深2～3cm程度の浅水管理をし、分げつの発生を促す。
- (5) 田干し期間中に大雨や霜が予想される場合は、事前に入水する。

8. 鳥害対策

- (1) できるだけカラスの飛来が少ないほ場を選定する。
- (2) スズメの食害は2葉期頃まで注意し、侵入した場合は速やかに湛水する。
- (3) カモ // 3葉期頃 // 落水する。
- (4) 鳥害が予想される場合は、ほ場に水系を張るなど予防対策を行う。

播種後、ほ場周辺に水系を張り、鳥害を回避する。



9. 除草剤散布

- (1) 除草剤の散布は、出芽後入水し、減水が落ち着くなど湛水状態が安定してから散布する。
- (2) 散布時期を守り、遅れないように注意する。
- (3) 散布後5日間は湛水状態を維持し、散布後7日間は『止水管理』(「落水」や「かけ流し」をしない)とする。
- (4) 気温が高めに推移していることから、使用時期の範囲内で遅れないように注意する。

◎播種後の除草剤

除草剤名	使用時期	使用時期の目安	適用土壌	使用量	使用方法	使用回数
キックバイ 1キロ粒剤	ノビエ2.0葉期まで (ただし収穫90日前まで)	播種後 5～7日	砂壤土 ～埴土	1kg/10a	湛水散布	1回
バッチリ 1キロ粒剤	<u>イネ出芽揃期～ノビエ2.5葉期まで</u> (ただし収穫90日前まで) <u>イネ出芽揃期とは、緑色の不完全葉が</u> <u>1m間に14～16本確認できる状態</u>	播種後 7～9日	砂壤土 ～埴土	1kg/10a	湛水散布	1回
リボルバーエース 1キロ粒剤	イネ1.5葉期以降かつノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	播種後 13～16日	砂壤土 ～埴土	1kg/10a	湛水散布	1回
サラブレッドRX フロアブル	イネ1.5葉期以降かつノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	播種後 13～16日	砂壤土 ～埴土	500mL/10a	湛水散布	1回

◎除草剤散布の例

除草剤の選択方法	播種後日数(目安)																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
<u>出芽促進処理を実施した場合</u> または 雑草が少ない場合								バッチリ 1キロ粒剤													
<u>出芽促進処理を実施しない場合</u> または 雑草が多い場合																					

～除草剤散布は、ほ場の状態を確認し、遅れずに散布しましょう！～